

1. 細い繊維径の不織布

タピルス株式会社(港区)



メルトブロー不織布は溶けた(メルト)樹脂をネットに吹き付けて(ブロー)、糸を作る工程を経ることなく不織布を製造する方法。この製法は他の不織布製法と比較して細い繊維径の不織布が得られること、また、接着剤などを使用しないことが特徴。不織布の繊維径が細いと小さな粒子を捕捉することができ、接着剤を使用していないのでフィルターや衛生材料等に使われている。

2. デジタル印刷を活用した段ボール資材への加工技術

株式会社志村製函所(板橋区)



段ボールのシート製造→製函→配送までワンストップで行えるメーカー。各種加工機械を所持し、それを扱う熟練の技術により様々な加工が可能。段ボール素材に直接フルカラー印刷ができるデジタルプリンターを導入しており、今まで段ボール印刷では再現不可能とされていた色彩の表現ができ、より鮮やかで深みのある印刷が可能となる。デジタル技術と職人の段ボール加工技術を組み合わせ、新たな可能性を作り出す提案を期待している。

3. 試作から最終製品までを1台で任せられるハイエンド3Dプリンター

株式会社アспект(稲城市)



PBF(粉末床溶融結合技術)方式のハイエンド3Dプリンターメーカー。3Dプリンターの中でPBFは生産性が高く、既存技術では成しえない複雑な形状を再現することが出来る。加えてモデリングの変更も最小で済む。国内のデザイナーで3Dプリンター、特にこのPBFを用いている例はほぼ存在しないため、ファーストペンギンとしてたくさんのアイデアを期待している。

4. 手作業で美しく溶接する銀ロウ付け技術および金属加工

株式会社佐藤製作所(目黒区)



創業66年、金属加工+銀ロウ付けを用いて主に医療機器や通信関連部品を製造。他社では対応できないような、ごく小部品・大型部品・精密部品・特殊な材料などの高難易度のロウ付けも対応。技術において現在も研究・実験に取り組み、社員も半数が20代で、新しいことに積極的にチャレンジしている企業。

2023年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(11件)

5.独自のゴム配合設計と幅広い加工技術

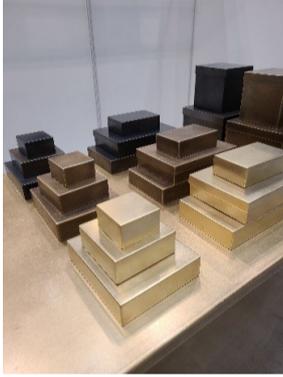
株式会社江北ゴム製作所(足立区)



ゴム、ポリマーのさまざまな特徴を活かし、耐熱性や耐候性、衝撃吸収性など多くの機能を独自の配合技術で付与することが可能。幅広い種類、加工技術を有し、加工方法の提案、材料開発、金型の内製などスピーディーさも強み。当該の材料に限定せず、広くゴムという弾性体を通して商品開発に挑戦したいという意欲を持つ企業。

6.職人技で古美色を再現する「硫化燻し加工技術」

株式会社富士産業(葛飾区)



エイジング加工は、「硫化燻し」または「古美色」といわれるもので、金属素材を用いて経年変化を人工的に促進させる技術。日本では神社仏閣などの建築用鋼材の着色に広く利用されている。近年では加工ができる職人が少なく、歴史ある技術そのもの、魅力を広めるために次世代に伝えていくアイデアを求めている。

7.輝きと手触りを自由自在に表現できる「デジタル特殊印刷技術」

株式会社研文社(新宿区)



デジタル特殊印刷技術は、RGBカラーモデルに迫る色域をもつデジタル印刷機と、箔やニス等を自在に操れるデジタル加飾機のパフォーマンスを最大限に引き出す専門のスタッフと連携することにより、デザインを形にするためのきめ細やかなサポートを行えることが強み。新たなビジネスモデルの構築に繋がるような取り組みに挑戦していきたいという意欲を持つ企業。

8.メイド・イン・TOKYOの職人技「ソールの製造加工・貼り合わせ技術」

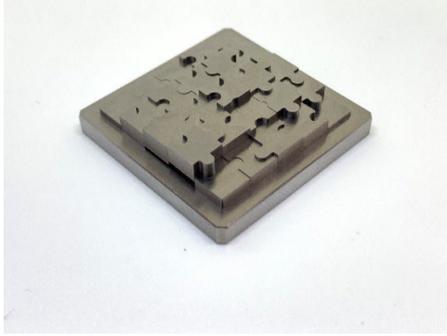
株式会社オノザキ(台東区)



1952年創業。靴材料総合商社としてこれまで一貫して靴業界のものづくりを実践。靴を取り巻く高い加工技術をより多くの人に知ってもらうための、メイド・イン・東京の商品や、業界の枠を超えて、靴以外の何かでこの技術を活かすなど、自由な提案に期待を寄せている。

9. ワイヤークット放電加工による「微細・精密金属加工技術」

有限会社オクギ製作所(東久留米市)



ワイヤークット放電加工に特化した企業。本加工技術は水の中で加工するのが一般的だが、同社は油の中で加工を行うタイプを保有しており、より細いワイヤー線を使って微細な加工をすることが可能。微小な加工を正確に行うためには、正確に測る・見る技術が必要であり、測定機器・観測機器の環境も揃っている。

10. 社会人を対象としたキャリア支援ノウハウの活用

Cross-Boundary Project(清瀬市)

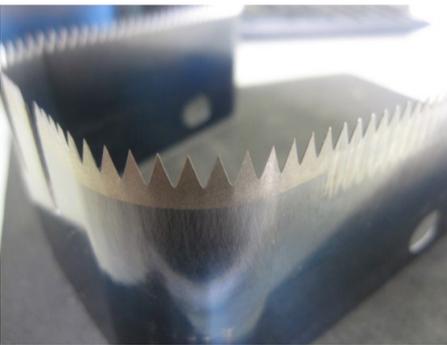


人生100年、
誰もがキャリアを考える時代に

長寿化がもたらす働き方や生き方の変化、地域とのつながりをつくるという社会全体の課題がテーマ。
キャリアデザインをしやすくなる仕組みやツールなどをデザインを用いて解決していく提案やアイデアに期待している。

11. チタンやシリコンの電極を使い対象物に放電処理によるコーティングをする被膜形成技術

アートビーム株式会社(八王子市)



放電表面処理による被膜形成技術は、加工油の中で処理を行い、電極と対象物の間に放電を発生させ、溶けた電極が溶けた対象物に移行し被膜を形成する技術。試作品に特化した精密部品の製造を30年以上続け、経験、技術を用いて人の手で高精度、高品質な製品を造り上げている企業。

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードの公式サイトをご覧ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>